

討論

第3回定例会で審議された議案・請願に対する議員の討論の概要をお伝えいたします。
議案には市長が提出するものと、議員が提出するものがあります。

市長提出議案

乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例…可決

〔内容〕生後6か月から満3歳未満で保育所等に通っていない子どもを対象として、こども誰でも通園制度が創設されたことに伴い、その設備及び運営に関する基準を定めるもの

岡口議員…賛成

本条例は、こども誰でも通園制度に対応しており、全ての子どもが健やかに育つための社会の実現に向けた大きな一歩。利用する乳幼児の安全確保や虐待防止など、基本的かつ重要な事項を丁寧に規定しており、質の高い子育て支援を推進する基盤となる。今後の市の子育て支援政策において重要な役割を担うもの。

古谷議員…賛成

時間単位等で柔軟に利用でき、就労や理由の有無を問わず生後6か月から満3歳未満の子どもを対象とした通園給付事業は、現在の子育てのニーズに合っている。子どもを安全安心に預けられる環境整備と保育所の確保等、保護者にとって心から待ち望まれていた制度。

令和7年度一般会計補正予算(第4号)…可決

〔内容〕とりでっ子応援ギフトカード給付事業、戸頭消防署非常用電源改修工事、Jアラート受信機の更新等

落合議員…賛成

エネルギーや食料品等の価格高騰の影響を受けた生活者支援として、子育て世帯へ「とりでっ子応援ギフトカード」の給付が行われる。店頭でもネットショッピングでも利用できるギフトカードでの支給は利用者にとって利便性が高く、職員の業務負担軽減や経費削減にもつながる。

岡口議員…賛成

とりでっ子応援ギフトカード給付事業による子育て世帯への支援は、生活費のカバーだけでなく地域経済への波及効果が期待される。この支援策に限らず、生活の安定と経済の活性化への取り組みが随所に見られ、将来を見据えた堅実な予算編成だと感じる。

決算認定

令和6年度一般会計決算の認定…認定

〔内容〕歳出決算額470億9,731万1千円。快適で利便性の高い都市空間づくり、魅力の創造と発信、未来をつくる世代を育むまちづくり、健康でいきいきとした社会の実現、安全安心なまちと未来を見据えた環境整備、持続可能な地域社会の構築に向けた事業など

遠山議員…反対

住民福祉、地域要望等に対する税の使われ方について審査を行った。防災対策、保育行政、農業支援、創業支援、公営住宅対応、不登校支援、コミュニティ・スクールの体制など、多くの課題があり、認めるわけにはいかない。

久保田議員…賛成

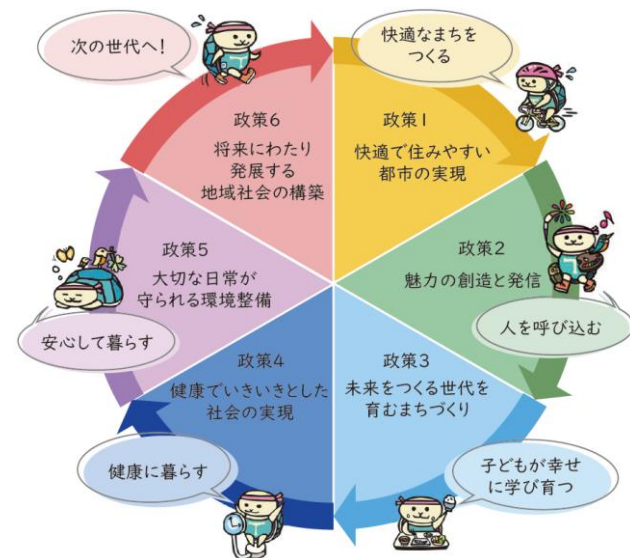
母子健康手帳アプリToriCo(トリコ)の導入や、とりで住ま入る(スマイル)支援プラン、結婚新生活支援事業など、子育て世帯や新生活をスタートさせるカップル等への支援が実施された。また、基幹相談支援センターの設置により、障がい者の相談窓口が充実するなど、市民が安心して暮らし、明るい未来を描けるような施策が進められている。

根岸議員…賛成

ひきこもり対策、基幹相談支援センター事業、不登校対策、教育相談事業など、一人一人の生きる力を支え、引き出す事業に取り組んでいる。また、老朽化したインフラの整備、ICT導入、DX推進など、社会環境の整備にも取り組んでいることを評価する。

岡口議員…賛成

とりで未来創造プラン2024の初年度として、6つの重点政策に基づいた取り組みを進めた。物価高騰や不透明な国際情勢などの厳しい環境の中で、市民生活に直結する事業に重点的に財源を配分し、効率的で未来志向の財政運営が実現されたと高く評価。



「とりで未来創造プラン2024」における6つの政策(目指すまちの未来)

コンセプトは「取手の魅力を高め、取手を選んでくれた方のライフサイクルに寄り添い、幸せが継続する地域社会を創る」

令和6年度競輪事業特別会計決算の認定…認定

加増議員…反対

競輪事業は開催日程の影響が大きく、車券の売り上げは不安定。全ての世代が安心して住み続けたいと思えるまちをつくるために競輪事業から脱却し、文化芸術、スポーツ、福祉などの施設への転換を図るべき。市民の願う、文化の薫るまちの実現に向けて、茨城県との協議と市の責任ある対応を求める。

染谷議員…賛成

競輪事業の収益は、市民の生活向上や公共サービスの充実に活用される自治体の重要な財源。公益財団法人JKAは収益を活用した社会貢献を行い、取手競輪場はギャンブル依存症対策に取り組んでいる。競輪事業はスポーツの発展、社会貢献の意義、歳入の面から市に必要。

請願

小貝川ポニー牧場を核とした小貝川三次元プロジェクト事業継続に関する請願…一部採択

(請願事項1から3までは趣旨採択、請願事項4は採択)

(提出者…特定非営利活動法人

小貝川プロジェクト21 理事長

井草 雄太郎 ほか932人

紹介議員…赤羽直一)

〔請願事項〕

- 1 小貝川ポニー教室で積み重ねてきた「子どもの気持ちを大切に」、明るく・元気に・骨惜しみしない雰囲気継承するようなポニー牧場の存続を前提に、継続してください。
- 2 安全に利用できるよう馬房や関連施設(生き生きクラブ棟等)の修繕を行った上での活用をお願いします。
- 3 高齢福祉、教育、不登校支援、障がい者ケア、子育て支援といった観点から、本事業の社会的役割について関係者を含めて再評価し、幅広い政策的視点で適正な事業規模および予算確保・運営をお願いします。
- 4 藤代スポーツセンターと、一体的な施設として見直し、子どもから高齢者までの幅広い年齢層の社会教育施設として、再整備の検討をお願いします。

根岸議員…一部採択に賛成

小貝川ポニー牧場の存続について市民から相談があり、現状のままで存続が難しいと考えていた。しかし、請願提出者の方からお話を伺う中で、新たな事業展開の可能性が見えたため、子育てや体験の場として、子どもたちの成長に寄与できる仕組みを作っていきたい。

遠山議員…一部採択に賛成

小貝川ポニー牧場は、不登校の子どもが社会参加することができる場としても非常に重要。インクルーシブ的空間や地域コミュニティの創出は今後ますます必要。



趣旨採択とは…請願に対する議会の意思決定は、会議規則では「採択」か「不採択」の2種類です。しかし、願意は十分に理解できるものの、実現することが難しい場合などに用いる議決結果として「趣旨採択」があります。



小貝川ポニー牧場
(左:厩舎前 右:乗馬体験の様子)

一般会計予算・決算審査特別委員会から提言書を市長に提出

9月24日、一般会計予算・決算審査特別委員会からの提言書を、山野井議長が中村市長に手渡しました。

一般会計予算・決算審査特別委員会は、9月17日から19日にかけて令和6年度一般会計決算の審査を行いました。決算審査の結果を踏まえて、令和8年度一般会計予算編成に際して執行機関に求める提言を取りまとめたものです。

〔提言事項〕

- 1 創業支援事業と空き店舗活用については、さらなる工夫を図ること。
- 2 地籍調査事業については、関係機関との連携を深め、進捗率向上を図ること。
- 3 部活動の地域移行については、指導員の選定において学校間の格差が生じないように努めること。
- 4 防犯ステーションの運営については、犯罪情勢や地域とのバランスを総合的に判断し、機能の充実を図ること。
- 5 コミュニティ・スクール事業については、適切な人数と多様な人材の確保に努めること。



左から佐藤委員長、中村市長、山野井議長、小堤副議長

一般会計予算・決算審査特別委員会のこれまでの取り組み

5月 決算審査に向けての調査を開始

令和6年度重点事業の179項目のうち、委員会として調査が必要と思われる項目について協議し、2班に分かれて調査を開始しました。

~8月初旬 執行機関への重点項目調査

各班がそれぞれ執行機関に調査を行い、調査結果を重点調査シートにまとめました。

8月 重点項目調査の結果について委員間討議

各班の重点調査シートを共有し、9月の決算審査の進め方を正式に決定しました。

9月 令和6年度一般会計決算の審査

3日間の委員会の中で各委員が、重点調査項目を含め一般会計決算の各費目について質疑を行いました。また3日目には、杉山副委員長が委員会を代表して、執行機関に対して総括質疑を行ったほか、根岸委員が無会派クラブの会派代表者として、総括質疑を行いました。

◆各議員の一般質問については、
市の議会報ホームページをご覧ください。

市議会だより「ひびき」

検索



取手市議会だより「ひびき」第257号
(令和7年11月1日発行) 一般質問ページへの二次元コード